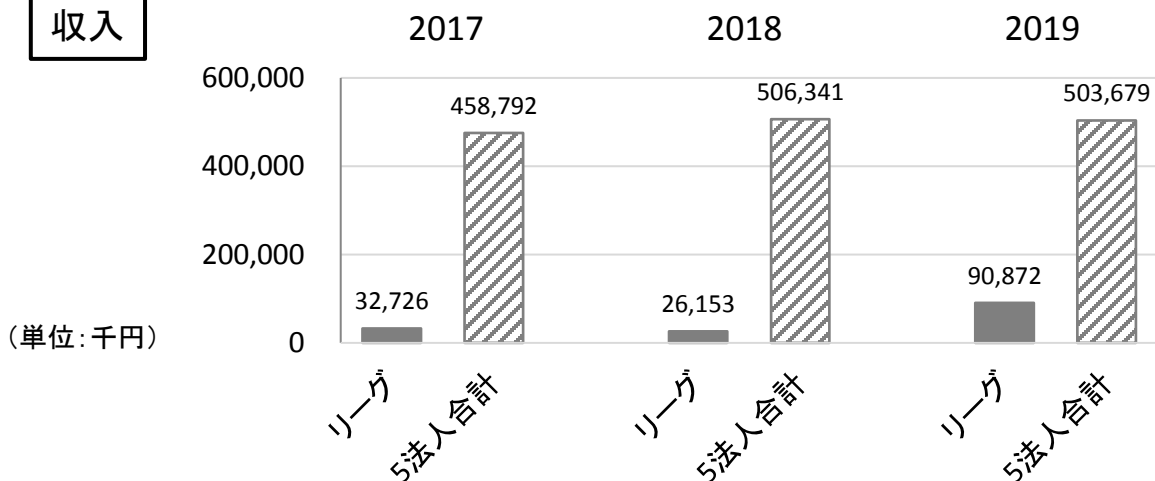
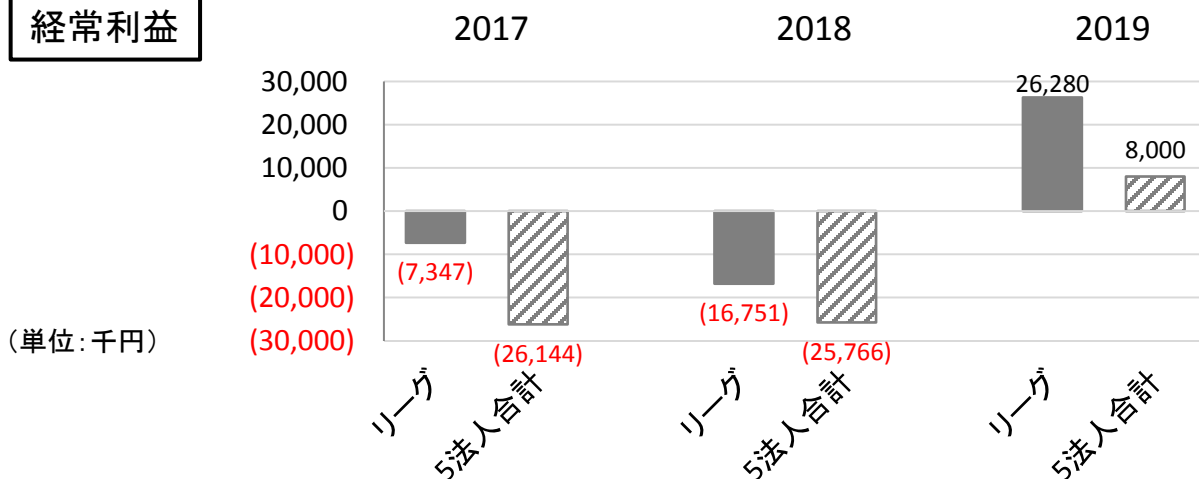


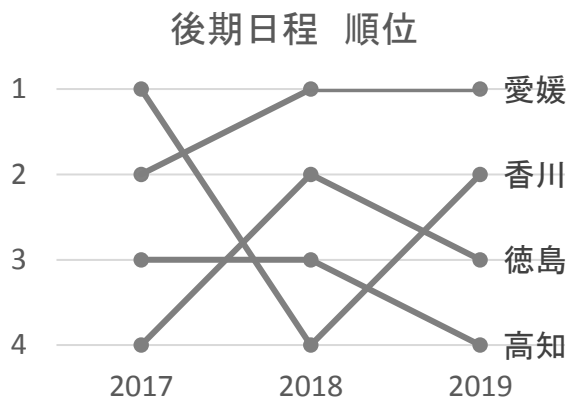
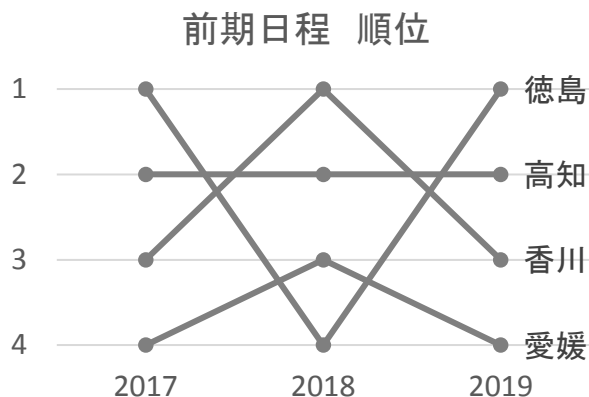
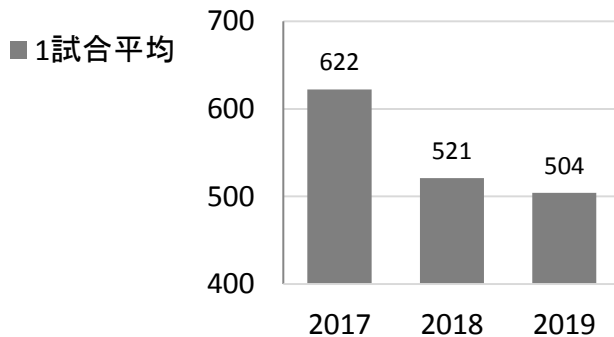
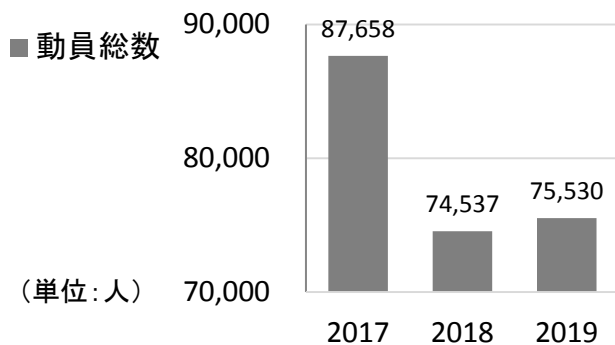
- リーグ名 : 四国アイランドリーグplus
- 運営会社名 : 株式会社IBLJ
- 代表者名 : 馬郡 健
- 社員数 : 3名
- 主要株主 : コンカラー(株)、データスタジアム(株)、四国電力(株)、
四国旅客鉄道(株) ほか
- 主要スポンサー名 : 株式会社セイア、株式会社トリドールホールディングス、
株式会社伊藤園、株式会社ダスキン ほか
- NPB実績 : 選手:66名【ドラフト本指名21名、育成指名37名、復帰・移籍8名】
指導者:16名、審判:13名、球団スタッフ(BP、BC、スカウトほか)30名
- 概況 :

収入



経常利益





■ プレーオフ優勝チーム

CS 2017・・・徳島 2018・・・香川 2019・・・徳島
 GCS 2017・・・徳島 2018・・・(群馬) 2019・・・徳島

■ 2019年ノトピックス 【抜本的な組織改革及び経営基盤の整備】

1. 新規ナショナルスポンサーの獲得

新規大型スポンサーを獲得

四国における15年間の積み重ねによる資産活用にも期待

2. 愛媛のジャイアンツ戦

3. NPBドラフト指名4選手

埼玉西武ライオンズ

上間 永遠(徳島・投手)、岸 潤一郎(徳島・外野手)

読売ジャイアンツ

平間 隼人(徳島・内野手・育成)

広島東洋カープ

畝 章真(香川投手・育成)

4. 北米遠征

Can-Am League(キャンナム・リーグ)の6球団と公式戦19試合を実施

ニューヨーク日本国総領事館において松井秀喜氏による講演

■ 2020年ノシーズン展望 【次なるステージに向けた攻めの運営】

1. 2020年を通じて、ガバナンス整備を進める

ビジネスとして成長させるための人材登用

組織再編

2. SPORTS TECH TOKYO(電通・スクラムベンチャーズ)への参加(予定)

IoT×スポーツにおける実験場としての独立リーグ

選手の強化と先進性の追求

3. 観客増加を図るため、試合を金・土・日に集中させる日程を設定

■球団名：徳島インディゴソックス

■運営会社名：株式会社パブリック・ベースボールクラブ徳島

■代表者名：南 啓介

■社員数：3名

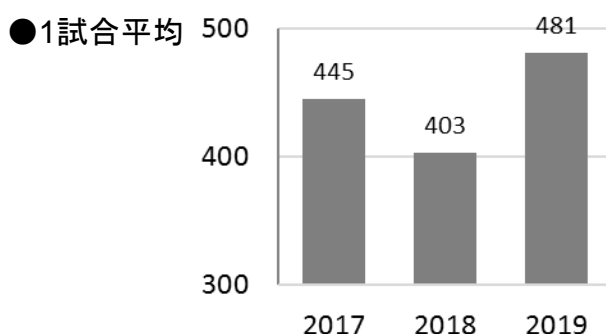
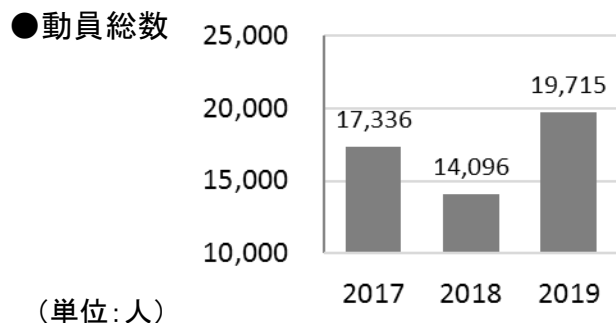
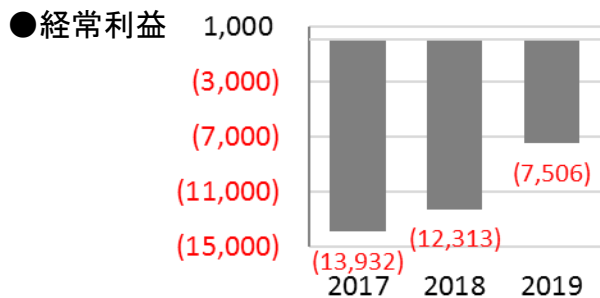
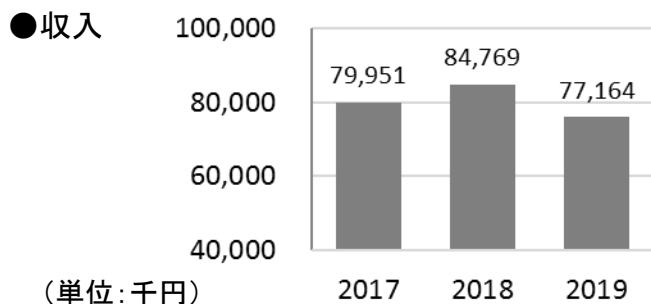
■主要株主：(株)WoodStock (株)明和クリーン (有)エヌティコーポレーション

■主要スポンサー名：阿波製紙株式会社 株式会社明和クリーン 徳島トヨペット株式会社 ポートレース鳴門 ゆめタウン徳島

■NPB輩出実績：ドラフト指名19名、外国人移籍2名

■チーム成績(2019年)：前期・・・1位 後期・・・3位

■概況：



※ ホーム最多動員 2,261人【8/4 vs読売巨人軍3軍@JAバンク徳島スタジアム】

■2019年／トピックス

- ①共同オーナーシップ制をとる徳島球団に新たに地元企業2社が参画。
地元徳島との繋がりが更に強固になり、営業面、広報面でも広がりを見せています。
- ②観客動員数は微増ではありますが、4年連続で上昇しております。
- ③2019年は独立リーグ日本一、NPBドラフト3名という結果となりました。
監督も5年連続で交代しておりますが、球団としての選手育成方針の勝ちながら育てて行くという思いは受け継がれて、今の所上手く行っています。

■2020年／シーズン展望

- ①NPBドラフトで5名。
- ②観客動員数を増やし興行収入をあげる。目標3万人越え/年。(開幕戦で地元のスター川上憲伸が来てくださります。)
- ③徳島県内からの支持率は上がっていますので、選手も一緒に企業訪問をし熱量を維持させスポンサーさんからの関心度を今以上にあげ、売上UPをはかります。
- ④動画、SNSの専門企業との事業提携をしました。更なる強化に努めます。

■球団名：愛媛マンダリンパイレーツ

■運営会社名：愛媛県民球団株式会社

■代表者名：薬師神 績

■社員数：9名(出向その他社員含)

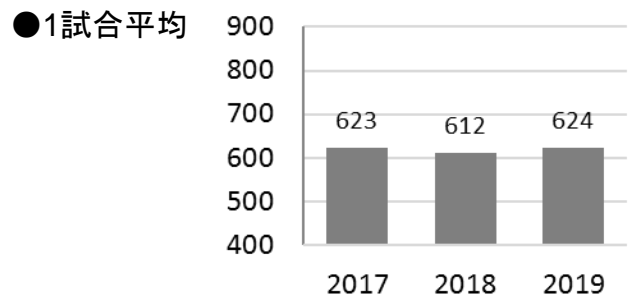
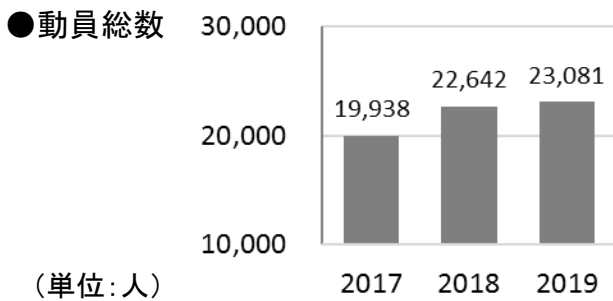
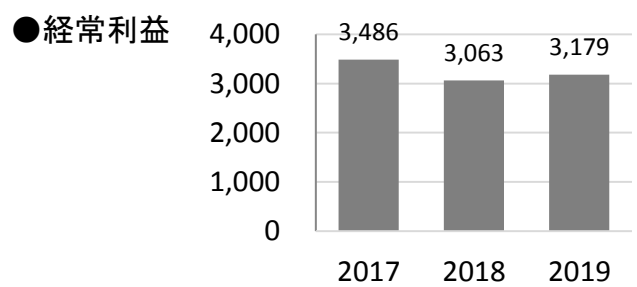
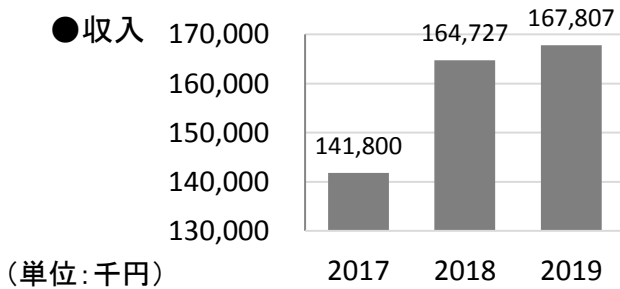
■主要株主：愛媛県、県内20市町、(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、星企画(株)

■主要スポンサー名：(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、(株)ビージョイ、太陽石油(株)、(株)フジ

■NPB指名実績：ドラフト指名7名、復帰1名

■チーム成績(2019年)：前期…4位 後期…1位

■概況：



※ ホーム最多動員 4,288人【8/25 vs読売巨人軍@坊っちゃんスタジアム】

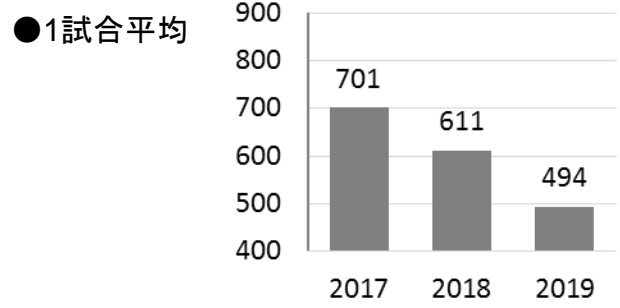
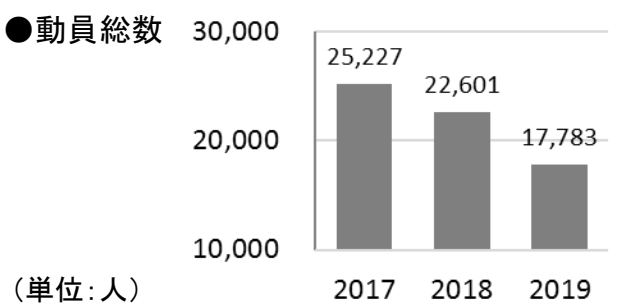
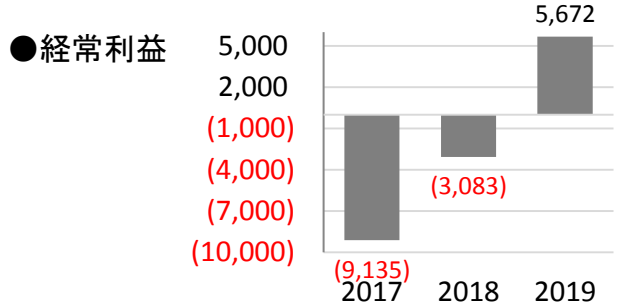
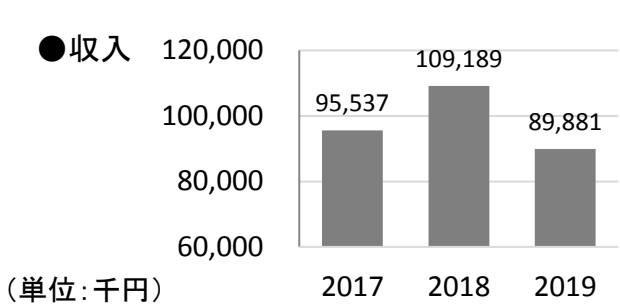
■2019年／トピックス

- ①観客動員数は微増となりましたが、それ以上に地域貢献活動の実施で県民球団としての存在感を高めることができました。
- ②2年連続後期優勝を果たすものの、年間総合優勝を逃す。
- ③2012年度より8期連続黒字決算。

■2020年／シーズン展望

- ①減少している後援会員を集中営業し、経営の安定化と9期連続黒字を目指します。
- ②小・中・高校生を公式戦無料入場とし、青少年健全育成に努めます。
- ③ドラフト指名選手の輩出を目指します。

- 球団名：香川オリーブガイナース
- 運営会社名：香川オリーブガイナース球団株式会社
- 代表者名：三野 環
- 社員数：2名
- 主要株主 株式会社サクセス、有限会社シンウェイ、逸見俊介
- 主要スポンサー名：株式会社レクザム、株式会社三祥、株式会社フソウ
- NPB輩出実績：ドラフト指名25名、外国人移籍2名
- チーム成績(2019年)：前期・・・3位 後期・・・2位
- 概況：



※ ホーム最多動員 3,696人【9/24 vs読売巨人軍@レクザムスタジアム】

■2019年／トピックス

- ①球場イベントに松中信彦氏をお呼びしたことがきっかけで10月よりGM兼総監督に就任。
- ②開幕前パーティを着座200人規模で開催。
- ③選手に係る経費や徹底した経費の見直しにより約1000万の経費削減が出来た。
- ④観客動員数はここ数年で最高の3000人／日集客した。
- ⑤育成で選手が1名NPBドラフト指名された。

■2020年／シーズン展望

- ①職員の大幅な削減により業務の見直しを徹底。
- ②選手の補強に注力。
- ③選手のセカンドキャリア事業を継続

■球団名：高知ファイティングドッグス

■運営会社名：株式会社高知犬

■代表者名：山本 裕司

■社員数：6名

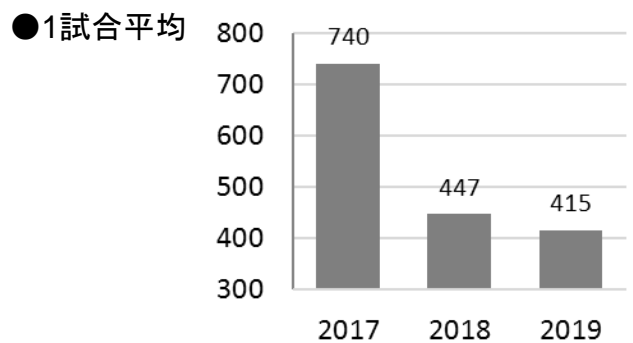
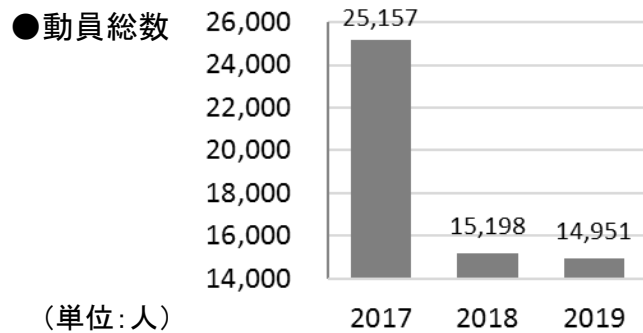
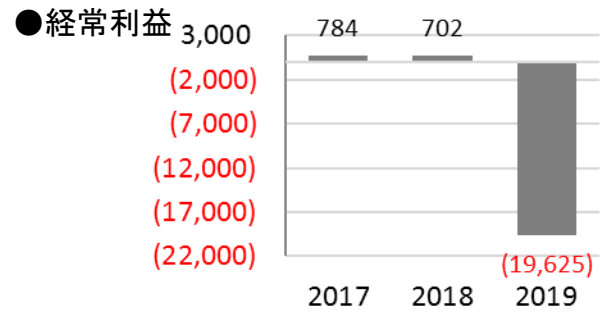
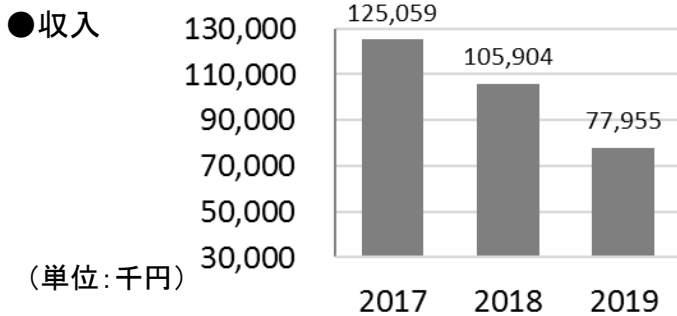
■主要株主：明神水産株式会社

■主要スポンサー名：明神水産(株)、和光ホームズ(株)、龍馬学園、越知町、佐川町

■NPB輩出実績：ドラフト指名6名、移籍1名、外国人移籍1名

■チーム成績(2019年)：前期…2位 後期…4位

■概況：



※ ホーム最多動員 1,320人【8/18 vs愛媛マンダリンパイレーツ@高知球場】

■2019年／トピックス

- ①2019年3月に球団運営会社に変更(経営陣の交代)
→事業縮小(海外事業、行政からの委託事業切り離しなど)
- ②観客動員数減少(2018年平均447名→2019年平均415名)
→特に目新しい取り組みできず
- ③2016年から4年間指揮を取った駒田徳広監督が昨シーズン限りで退任

■2020年／シーズン展望

- ①2020年2月より体制変更(経営陣の交代)※オーナー変わらず
- ②観客動員に向けた新たな取り組み
→ソーシャルメディア(YouTube、LINE、Twitter、Facebook、Instagram など)を使った広報強化
→球場エンターテインメント化の推進(音楽による雰囲気作り、飲食関連の改善、強化)
- ③選手育成状況の見える化(フィジカル面の数値化、ラブソード導入など)